

石巻市プレハブ仮設住宅入居者健康調査結果まとめ (H24. 9~10)

1 石巻市及び全県の配布・回収状況

石巻市の回収率は訪問支援員の協力があり、県平均の58.6%より高く62.0%だった。また、県全体配布世帯の44.4%、回収世帯数の47.0%を占めていた。

No	市町村名	配布世帯数	回収世帯数	回収率	回答人数
1	石巻市	7,096	4,399	62.0%	9,990
2	塩竈市	195	163	83.6%	360
3	気仙沼市	3,055	1,378	45.1%	3,184
4	名取市	757	341	45.0%	753
5	岩沼市	340	289	85.0%	721
6	東松山市	1,672	655	39.2%	1,511
7	亶理町	939	459	48.9%	1,191
8	南三陸町	1,866	1,641	87.9%	4,604
9	大郷町	12	10	83.3%	28
10	美里町	47	31	66.0%	99
合 計		15,979	9,366	58.6%	22,441

参考：H23 民賃調査	12,826	9,413	73.4%	26,818
-------------	--------	-------	-------	--------

2 石巻市の集計から見たもの

(1) 要フォロー者の概要

- ・今回の結果から、2,225人(22.6%)が要フォロー者として選定された。
- ・対象人数が多い項目では、K6(心の健康度調査)が13点以上(フォローが必要の方)、障害者手帳あり、要介護認定者(率は40歳以上で表記)の順であった。

	調査対象者		対象者のフォロー項目別人数(重複あり)									要フォロー者 実人数
	対象者数	回収数	①要 介護	②障 害者	③体 調悪	④K6:13 点↑	⑤治療中 断	⑥飲酒	⑦不眠+体重 減3kg以上	⑧体重増 10Kg以上	①~⑧ の合計	
合計	把握困難	9,846	478	513	163	628	259	182	278	310	2,811	2,225
(率)	-	-	15.1%	5.2%	1.7%	9.5%	5.4%	1.8%	2.8%	3.1%	-	22.6%

※調査対象者：有効回答を精査した結果9,846人となった。ただし①は65歳以上対象で3,160人を母数とした。④は18歳以上の人数で無記入または得点化できないデータを除いた6,593人を母数とした。⑤は現在病気がある人4,805人を母数とした。

(2) 性・年代別の特徴

男 性	① 働き盛り世代の無職の人が約300人いることから、「朝から飲酒」「相談相手がいない」との関連とともに就業や経済的な側面からも気になる。
	② 「現病歴の治療を受けていない」人は、6.0%で50~60歳代で63人見られた。
	③ 朝や昼から飲酒する割合は全県値より低いが、40~60歳代の働き盛り世代に見られる(4.6%~5.1%)。
	④ 「相談相手がいない」人の割合が22.2%で、どの年代においても女性より高かった。
	⑤ 「行事への参加をしていない」が65.4%で、どの年代においても女性より高かった。
	① 過去1年間の健康診断受診率が61.7%で、男性及び全県値より低かった。

女性	<p>② 「体調があまり良くない」18.7%、「とても悪い」1.6%で、約2割が良くないと答えていた。</p> <p>③ K6得点13点以上が11.1%で、男性及び全県値より高い傾向があった。</p> <p>④ 「眠れない」18.7%で、60歳代では4人に1人が不眠と答えていた。</p> <p>⑤ 「体重が増加した」21.8%で、30～60歳代で男性より高かった。</p> <p>⑥ 「体を動かす機会がとてま少なくなった」21.2%、「少なくなった」34.6%で、男性及び全県値より高い傾向があった。</p>
高齢者	<p>① 調査項目の多くにおいて、年齢が高くなるにつれて課題があると考えられる割合が高かった。 ※独居、相談相手がいない、高血圧・糖尿病等の病気を抱え体調があまり良くない、不眠、食欲がなく体重が減った、日頃の生活の中で体を動かす機会が少なくなった。</p> <p>② 若い世代に比べ、新しい環境への適応が難しいことがうかがわれた。</p>

3 今後の取組や活動の方向性について

	ポピュレーションアプローチの側面から	ハイリスクアプローチの側面から
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診を情報提供の機会として活用する。 ・地域のイベントや行事の企画やスタッフとして役割を担ってもらい地域とつなげる。 ・IT等を活用した健康・住まい・経済等の情報提供及び商工会や産業医等と連携した健康情報の提供や相談窓口の紹介。 ・男性を惹きつけるイベントや教室等の開催（メンズクラブ、居酒屋教室料理、体力づくり）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークを訪れた人に対するワンストップサービスの提供（弁護士・看護職等）。 ・身体・精神障害者の生活支援や療養指導。 ・生活習慣病等で治療中断者の個別フォロー。 ・アルコール依存症問題の支援
女性	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の受診勧奨。 ・広報や回覧板による普及啓発。 ・仮設住宅内での健康相談会の開催。 ・ダンベル、ロコモ体操教室等。 ・母と子の食育と健康に関するイベントや教室。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性を対象にした健康支援事業（運動・食事・不眠）。 ・K6で要フォロー者の個別支援。
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・広報や回覧板、訪問支援員による普及啓発。 ・仮設住宅の集会場での介護予防事業の展開や趣味の教室等の開催（住民が主役）。 ・買い物や通院等の外出に対する支援（男性ボランティアやNPO等の育成と活用）。 ・訪問支援員や民生委員による見守り支援。 ・認知症予防教室（認知症サポーター研修も兼ねる）の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、高齢者虐待、要支援・要介護者への個別支援。 ・介護予防事業の展開。 ・配食サービスや口腔と栄養を組み合わせたケア。 ・傾聴ボランティアの育成と活用。

全体として

<ul style="list-style-type: none"> ・データが、全県の4割以上を占めることから、全般的に概ね全県の傾向と同様の結果であった。 ・K6得点については、項目が無記入または得点化できない人（1,753人 21.0%）のデータを除いて集計しているため、心の問題を抱える個別フォロー者の把握や集団評価としての信頼性等については、そのことを含んでの検討が必要と思われる。 ・今回の調査項目では、乳幼児期から学童期、青年期の姿や子育て中の親の状況が見えなかった。
--